

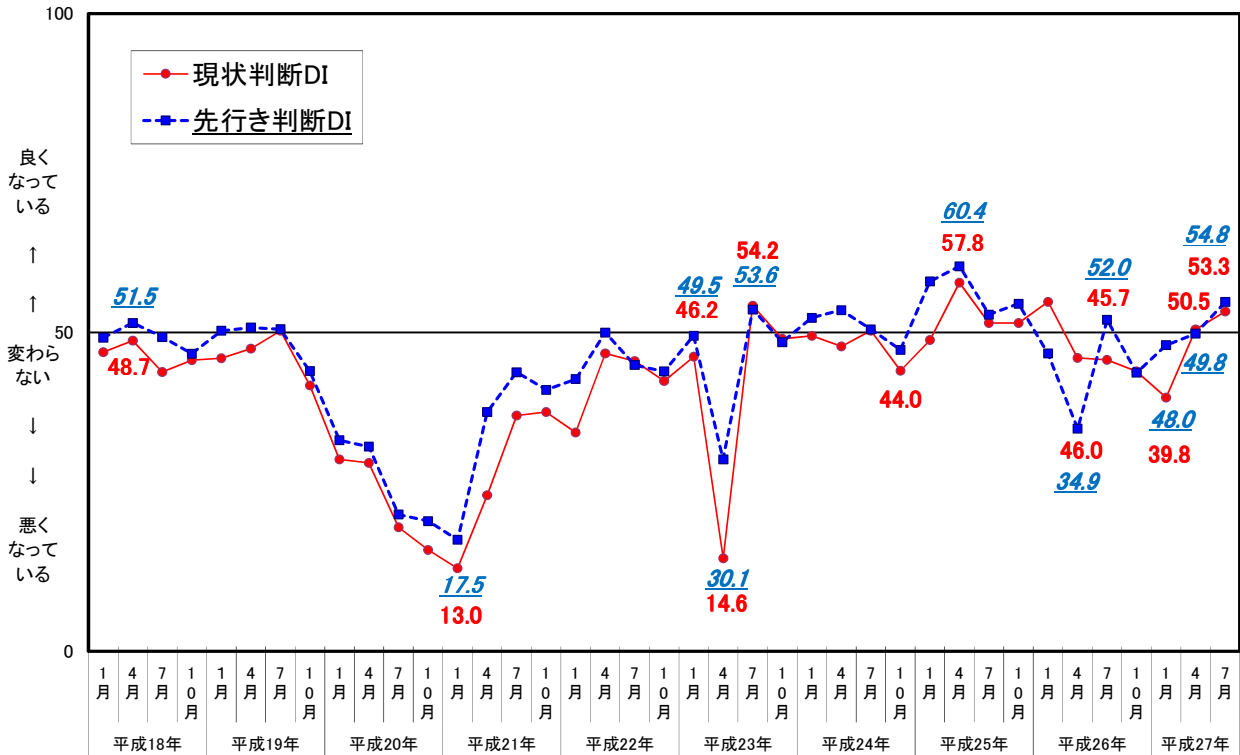
# 青森県景気ウォッチャー調査 (平成27年7月期)

調査期間 平成27年7月1日～7月13日 回答率100%

**概 況**

7月期の景気の現状判断DIは53.3と、2期連続で横ばいを示す50を上回った。先行き判断DIは54.8と、4期ぶりに横ばいを示す50を上回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成27年7月

青森県企画政策部統計分析課

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### ○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

#### ○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
  - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断  
参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 3. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が横ばい、「やや良くなっている」が7.0ポイント増加、「変わらない」が3.0ポイント減少、「やや悪くなっている」が4.0ポイント減少、「悪くなっている」が横ばいであったことにより、全体では2.8ポイント増加の53.3となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

判断理由では、未だに買い控えの傾向が続いている、春の賃上げは低い伸びに止まった、物の価格が上がっているなどマイナス面をあげる声があった一方で、プレミアム商品券の販売や利用による消費活動の活発化を上げる声が多くあったほか、消費税増税の景気への悪影響が一段落した、宿泊予約、住宅の注文、来店客数などが増えたといった声もあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連の住宅と雇用関連での増加が目立った。家計関連全体で横ばい、企業関連で8.4ポイント増加、雇用関連で17.8ポイント増加した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、下北地区以外の全地区でポイントが増加し、景気の横ばいを示す50を上回った。下北地区ではポイントが減少し、景気の横ばいを示す50となった。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が横ばい、「やや良くなる」が13.0ポイント増加、「変わらない」が8.0ポイント減少、「やや悪くなる」が3.0ポイント減少、「悪くなる」が2.0ポイント減少したことにより、全体では5.0ポイント増加の54.8となり、景気の横ばいを示す50を4期ぶりに上回った。

判断理由では、プレミアム商品券の効果は限定的で一過性で終わるといった声のほか、依然として節約志向、物価上昇、賃金の上昇は弱いなど継続的な消費増には結びつかないといったマイナス面をあげる声があった一方で、プレミアム商品券の利用やプレミアム商品券で購買力が上がっていくことに期待する声が多くあったほか、時期的に祭りの盛り上がり期待する声もあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、全分野でポイントが増加し、家計関連全体で6.0ポイント増加、企業関連で1.4ポイント増加、雇用関連で3.6ポイント増加となった。特に家計関連の住宅で12.5ポイント増加の62.5となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加し、景気の横ばいを示す50を上回った。津軽地区では55.8と、景気の横ばいを示す50を8期ぶりに上回った。

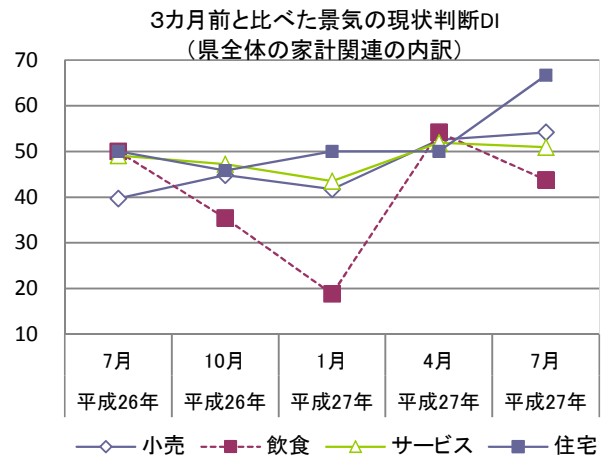
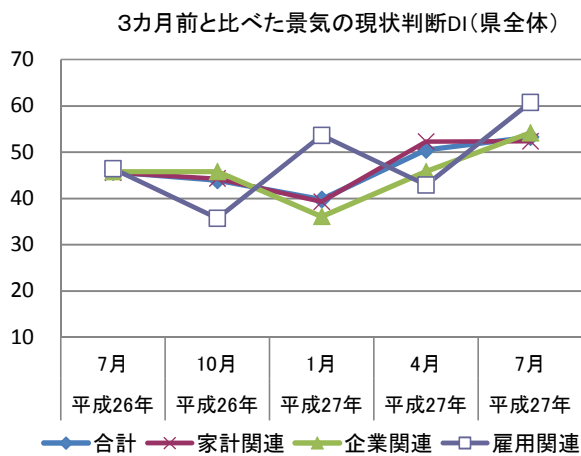
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

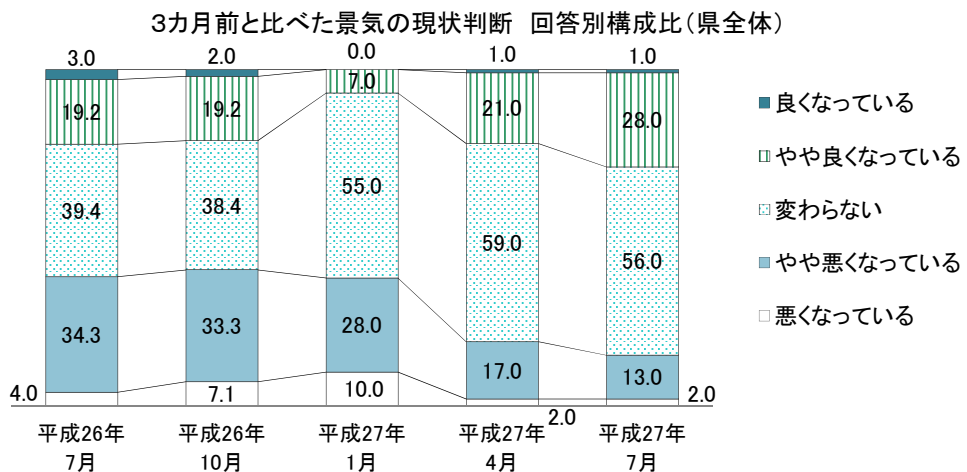
n = 100

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.7</b>	<b>43.9</b>	<b>39.8</b>	<b>50.5</b>	<b>53.3</b>	2.8
家計関連	45.6	44.3	39.3	52.3	52.3	0.0
小売	39.7	44.8	41.7	52.5	54.2	1.7
飲食	50.0	35.4	18.8	54.2	43.8	▲ 10.4
サービス	49.1	47.2	43.5	51.9	50.9	▲ 1.0
住宅	50.0	45.8	50.0	50.0	66.7	16.7
企業関連	45.8	45.8	36.1	45.8	54.2	8.4
雇用関連	46.4	35.7	53.6	42.9	60.7	17.8



#### ②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなっている	19.2	19.2	7.0	21.0	28.0	7.0
変わらない	39.4	38.4	55.0	59.0	56.0	▲ 3.0
やや悪くなっている	34.3	33.3	28.0	17.0	13.0	▲ 4.0
悪くなっている	4.0	7.1	10.0	2.0	2.0	0.0

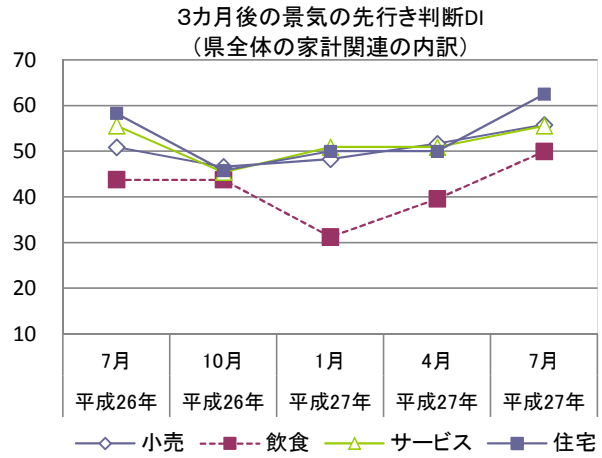
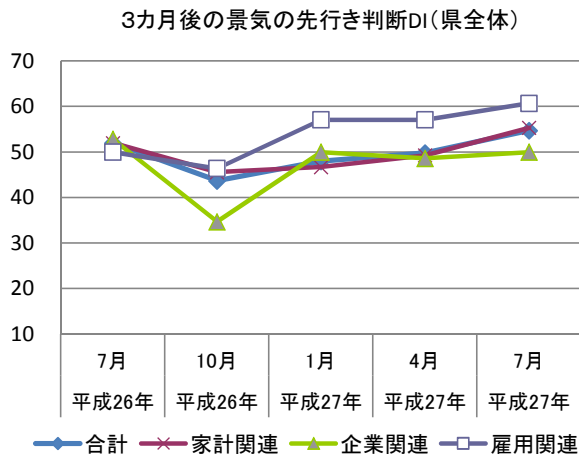


(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

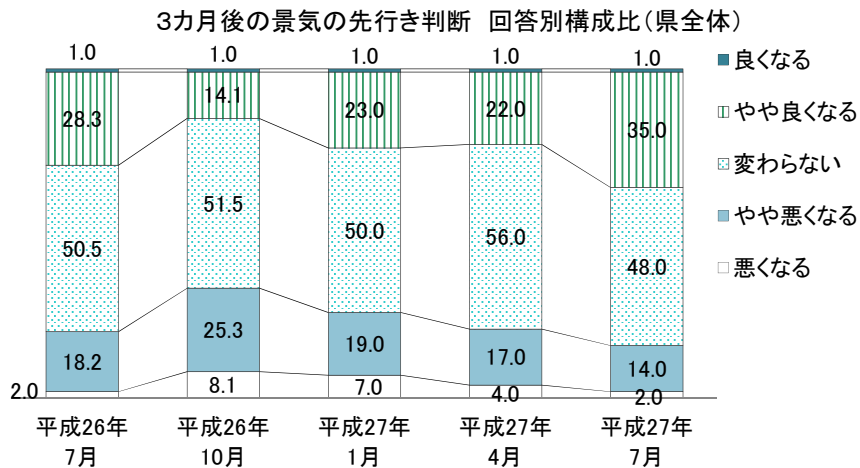
n = 100

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>52.0</b>	<b>43.7</b>	<b>48.0</b>	<b>49.8</b>	<b>54.8</b>	5.0
家計関連	52.0	45.6	46.7	49.3	55.3	6.0
小売	50.9	46.6	48.3	51.7	55.8	4.1
飲食	43.8	43.8	31.3	39.6	50.0	10.4
サービス	55.6	45.4	50.9	50.9	55.6	4.7
住宅	58.3	45.8	50.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	52.8	34.7	50.0	48.6	50.0	1.4
雇用関連	50.0	46.4	57.1	57.1	60.7	3.6



②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	28.3	14.1	23.0	22.0	35.0	13.0
変わらない	50.5	51.5	50.0	56.0	48.0	▲ 8.0
やや悪くなる	18.2	25.3	19.0	17.0	14.0	▲ 3.0
悪くなる	2.0	8.1	7.0	4.0	2.0	▲ 2.0



### 3. 地区別の動向

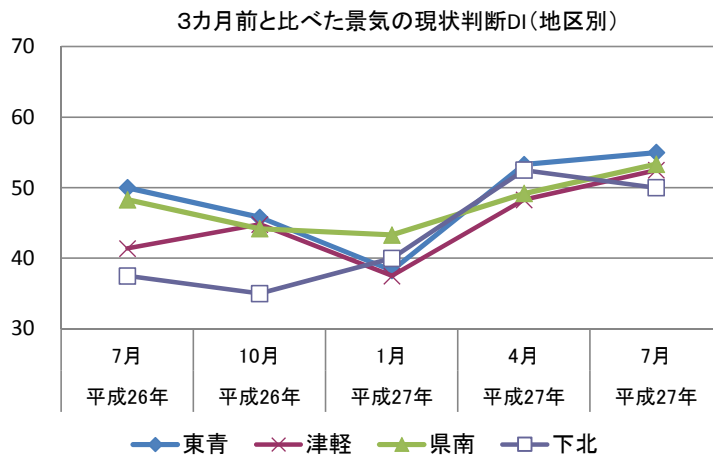
#### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

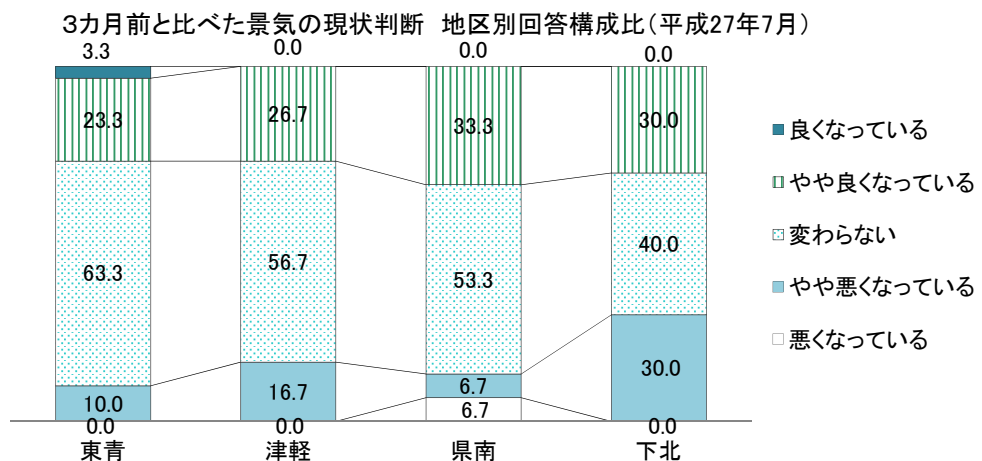
n = 100

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.7</b>	<b>43.9</b>	<b>39.8</b>	<b>50.5</b>	<b>53.3</b>	2.8
東青	50.0	45.8	38.3	53.3	55.0	1.7
津軽	41.4	44.8	37.5	48.3	52.5	4.2
県南	48.3	44.2	43.3	49.2	53.3	4.1
下北	37.5	35.0	40.0	52.5	50.0	▲ 2.5



#### ②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	23.3	26.7	33.3	30.0
変わらない	63.3	56.7	53.3	40.0
やや悪くなっている	10.0	16.7	6.7	30.0
悪くなっている	0.0	0.0	6.7	0.0



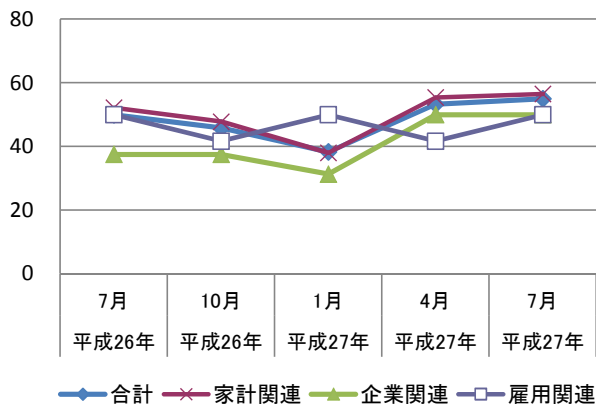
<東青地区>

①DI

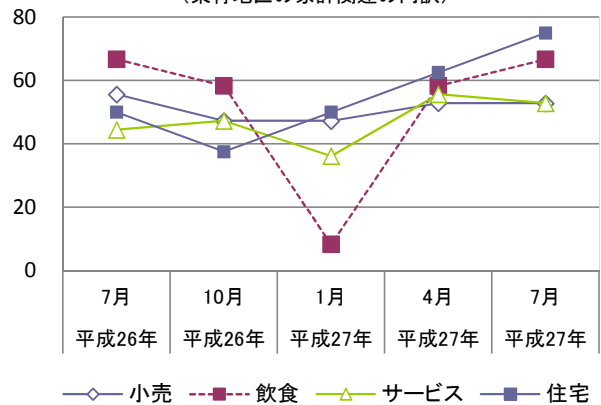
n= 30

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.0</b>	<b>45.8</b>	<b>38.3</b>	<b>53.3</b>	<b>55.0</b>	1.7
家計関連	52.2	47.8	38.0	55.4	56.5	1.1
小売	55.6	47.2	47.2	52.8	52.8	0.0
飲食	66.7	58.3	8.3	58.3	66.7	8.4
サービス	44.4	47.2	36.1	55.6	52.8	▲ 2.8
住宅	50.0	37.5	50.0	62.5	75.0	12.5
企業関連	37.5	37.5	31.3	50.0	50.0	0.0
雇用関連	50.0	41.7	50.0	41.7	50.0	8.3

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



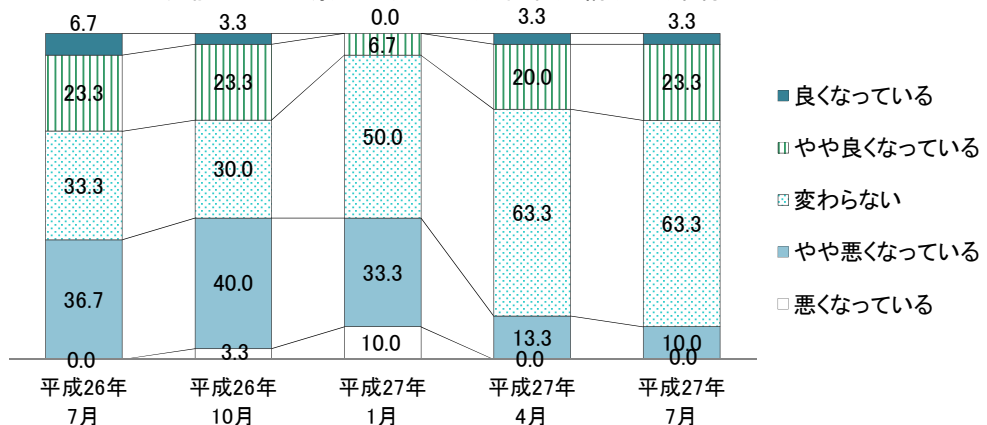
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなっている	6.7	3.3	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	23.3	23.3	6.7	20.0	23.3	3.3
変わらない	33.3	30.0	50.0	63.3	63.3	0.0
やや悪くなっている	36.7	40.0	33.3	13.3	10.0	▲ 3.3
悪くなっている	0.0	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)



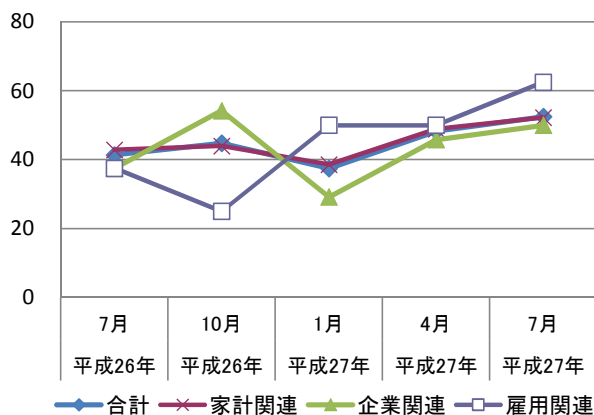
< 津軽地区 >

① D I

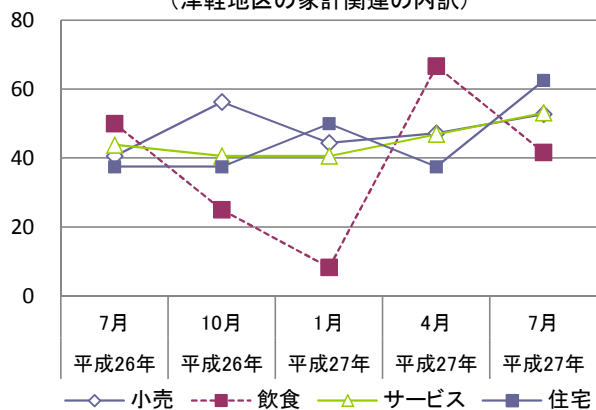
n = 30

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
合 計	41.4	44.8	37.5	48.3	52.5	4.2
家計関連	42.9	44.0	38.6	48.9	52.3	3.4
小売	40.6	56.3	44.4	47.2	52.8	5.6
飲食	50.0	25.0	8.3	66.7	41.7	▲ 25.0
サービス	43.8	40.6	40.6	46.9	53.1	6.2
住宅	37.5	37.5	50.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	37.5	54.2	29.2	45.8	50.0	4.2
雇用関連	37.5	25.0	50.0	50.0	62.5	12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



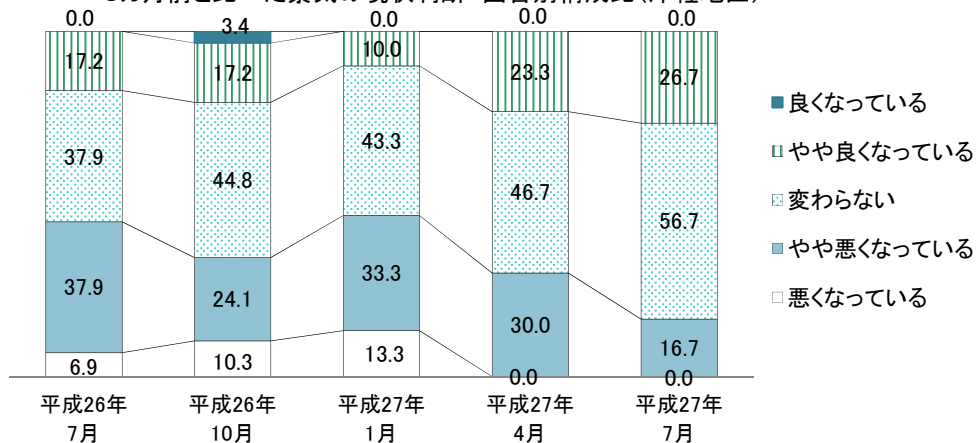
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	17.2	17.2	10.0	23.3	26.7	3.4
変わらない	37.9	44.8	43.3	46.7	56.7	10.0
やや悪くなっている	37.9	24.1	33.3	30.0	16.7	▲ 13.3
悪くなっている	6.9	10.3	13.3	0.0	0.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)





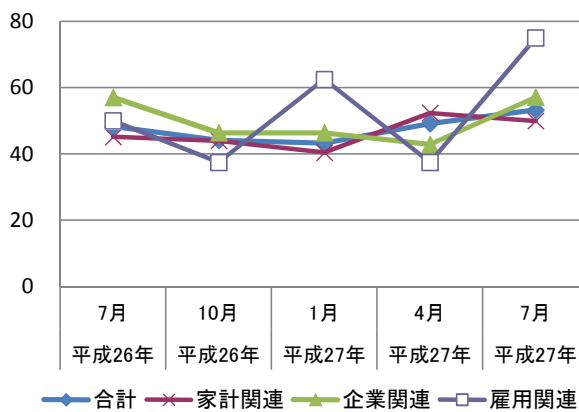
< 県南地区 >

① D I

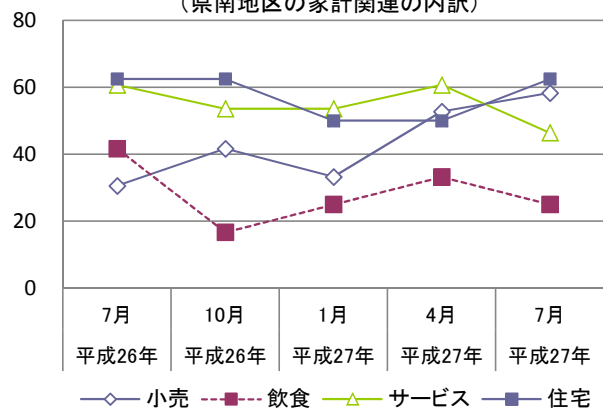
n = 30

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>48.3</b>	<b>44.2</b>	<b>43.3</b>	<b>49.2</b>	<b>53.3</b>	4.1
家計関連	45.2	44.0	40.5	52.4	50.0	▲ 2.4
小売	30.6	41.7	33.3	52.8	58.3	5.5
飲食	41.7	16.7	25.0	33.3	25.0	▲ 8.3
サービス	60.7	53.6	53.6	60.7	46.4	▲ 14.3
住宅	62.5	62.5	50.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	57.1	46.4	46.4	42.9	57.1	14.2
雇用関連	50.0	37.5	62.5	37.5	75.0	37.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



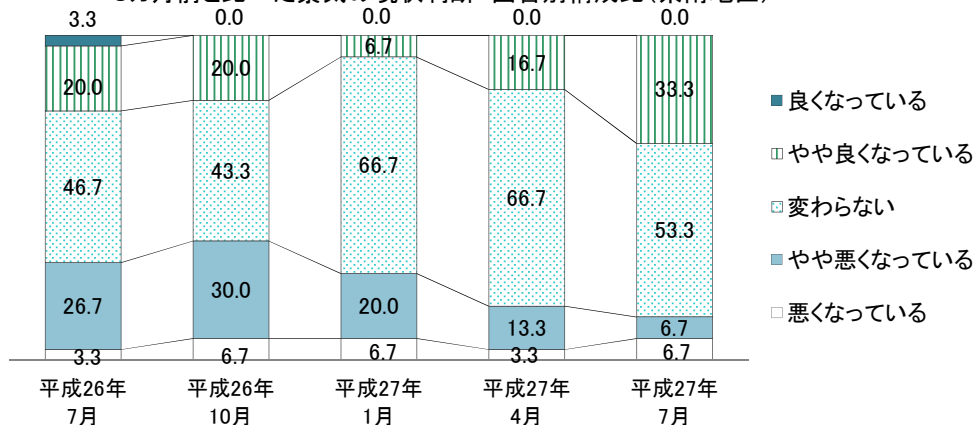
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	20.0	6.7	16.7	33.3	16.6
変わらない	46.7	43.3	66.7	66.7	53.3	▲ 13.4
やや悪くなっている	26.7	30.0	20.0	13.3	6.7	▲ 6.6
悪くなっている	3.3	6.7	6.7	3.3	6.7	3.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



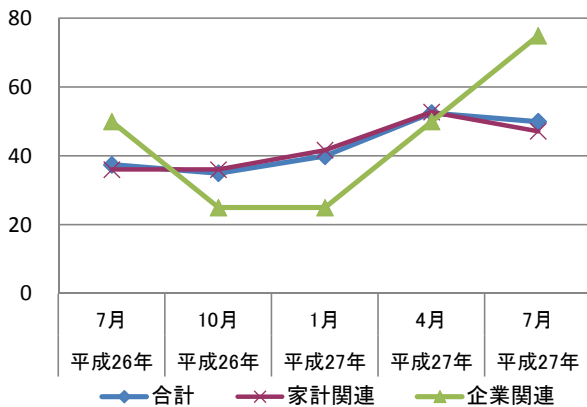
<下北地区> (参考)

①DI

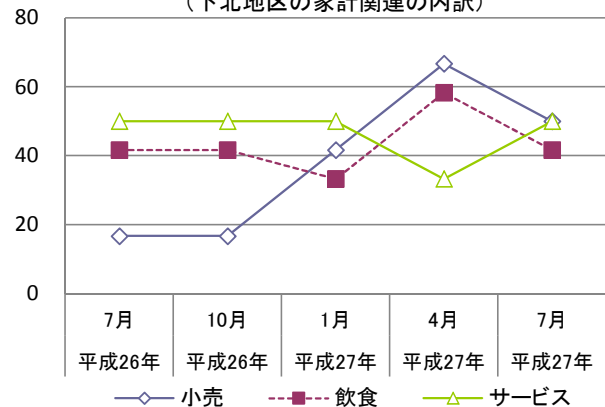
n= 10

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>37.5</b>	<b>35.0</b>	<b>40.0</b>	<b>52.5</b>	<b>50.0</b>	<b>▲ 2.5</b>
家計関連	36.1	36.1	41.7	52.8	47.2	▲ 5.6
小売	16.7	16.7	41.7	66.7	50.0	▲ 16.7
飲食	41.7	41.7	33.3	58.3	41.7	▲ 16.6
サービス	50.0	50.0	50.0	33.3	50.0	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



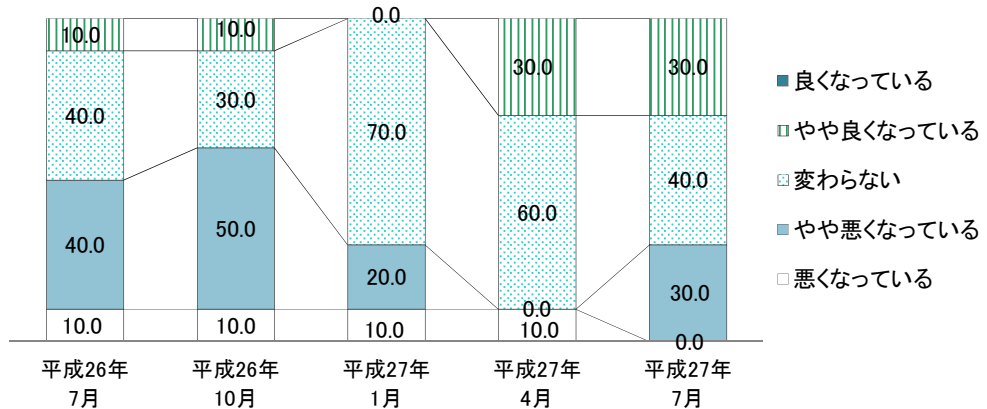
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	0.0	30.0	30.0	0.0
変わらない	40.0	30.0	70.0	60.0	40.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	40.0	50.0	20.0	0.0	30.0	30.0
悪くなっている	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	▲ 10.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)



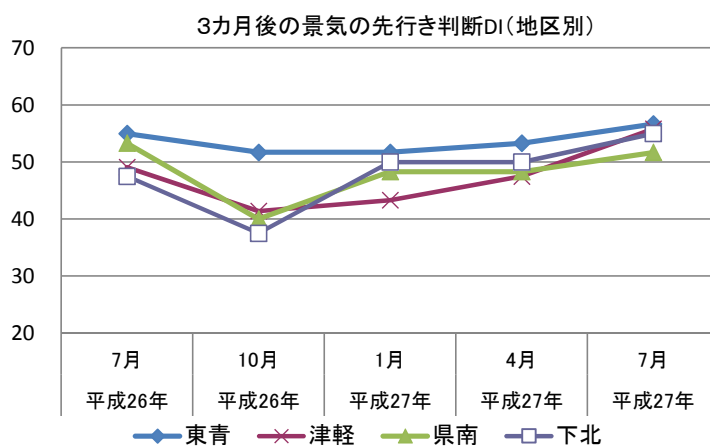
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

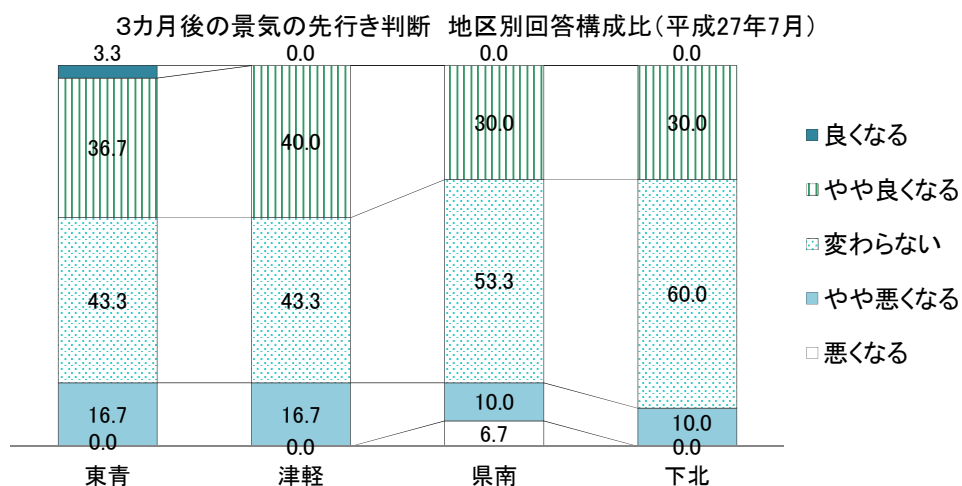
n = 100

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>52.0</b>	<b>43.7</b>	<b>48.0</b>	<b>49.8</b>	<b>54.8</b>	5.0
東青	55.0	51.7	51.7	53.3	56.7	3.4
津軽	49.1	41.4	43.3	47.5	55.8	8.3
県南	53.3	40.0	48.3	48.3	51.7	3.4
下北	47.5	37.5	50.0	50.0	55.0	5.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	36.7	40.0	30.0	30.0
変わらない	43.3	43.3	53.3	60.0
やや悪くなる	16.7	16.7	10.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	6.7	0.0



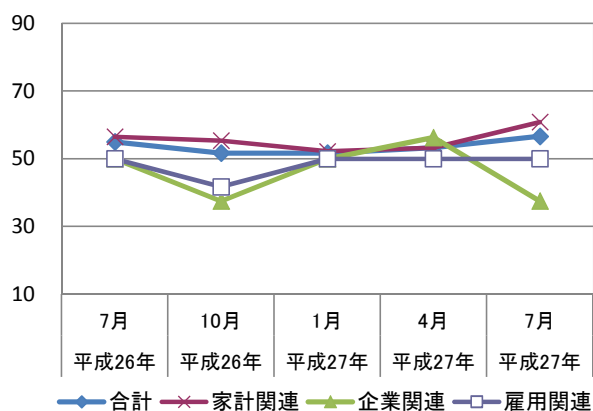
<東青地区>

①DI

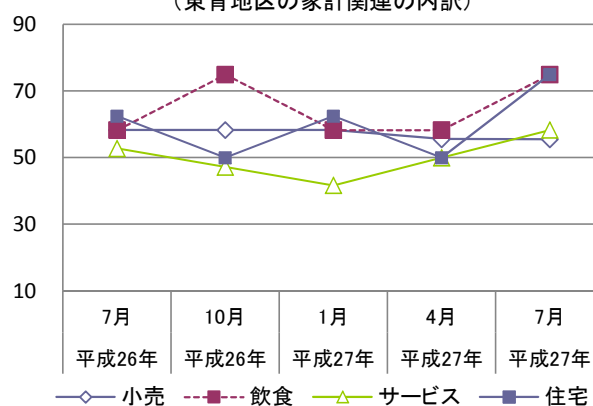
n = 30

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
合計	55.0	51.7	51.7	53.3	56.7	3.4
家計関連	56.5	55.4	52.2	53.3	60.9	7.6
小売	58.3	58.3	58.3	55.6	55.6	0.0
飲食	58.3	75.0	58.3	58.3	75.0	16.7
サービス	52.8	47.2	41.7	50.0	58.3	8.3
住宅	62.5	50.0	62.5	50.0	75.0	25.0
企業関連	50.0	37.5	50.0	56.3	37.5	▲ 18.8
雇用関連	50.0	41.7	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



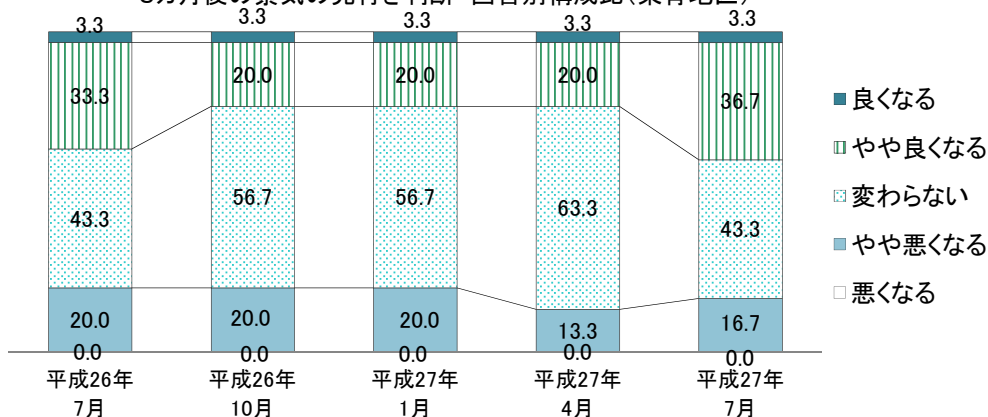
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	33.3	20.0	20.0	20.0	36.7	16.7
変わらない	43.3	56.7	56.7	63.3	43.3	▲ 20.0
やや悪くなる	20.0	20.0	20.0	13.3	16.7	3.4
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



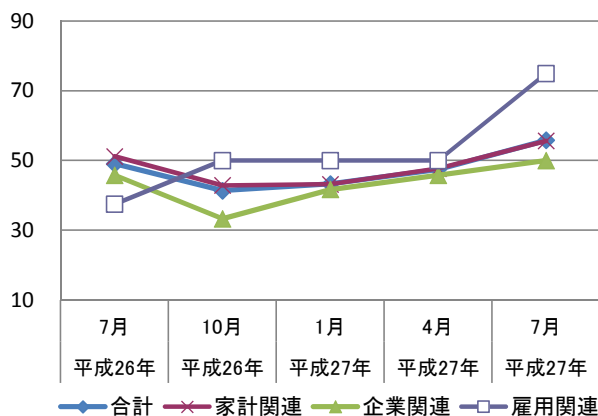
<津軽地区>

①DI

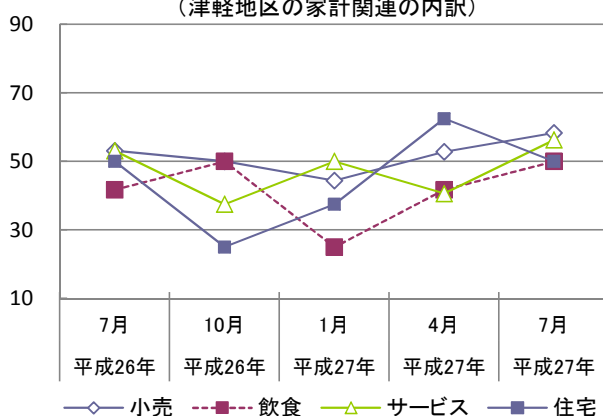
n=30

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>49.1</b>	<b>41.4</b>	<b>43.3</b>	<b>47.5</b>	<b>55.8</b>	8.3
家計関連	51.2	42.9	43.2	47.7	55.7	8.0
小売	53.1	50.0	44.4	52.8	58.3	5.5
飲食	41.7	50.0	25.0	41.7	50.0	8.3
サービス	53.1	37.5	50.0	40.6	56.3	15.7
住宅	50.0	25.0	37.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	45.8	33.3	41.7	45.8	50.0	4.2
雇用関連	37.5	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



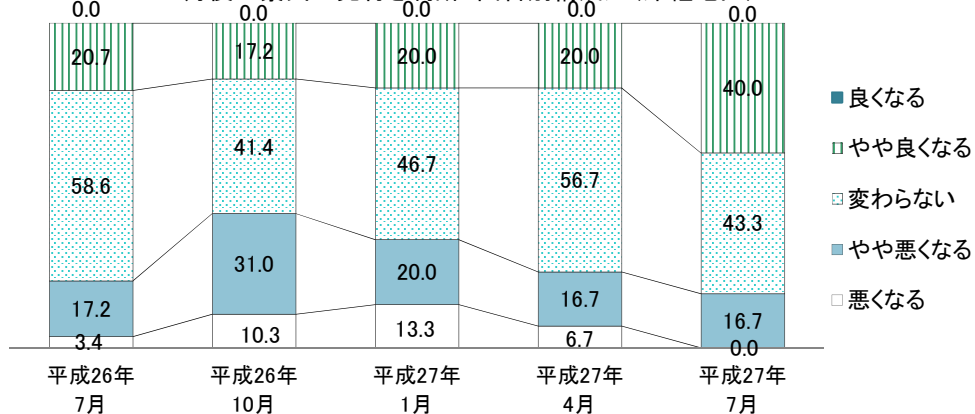
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.7	17.2	20.0	20.0	40.0	20.0
変わらない	58.6	41.4	46.7	56.7	43.3	▲ 13.4
やや悪くなる	17.2	31.0	20.0	16.7	16.7	0.0
悪くなる	3.4	10.3	13.3	6.7	0.0	▲ 6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



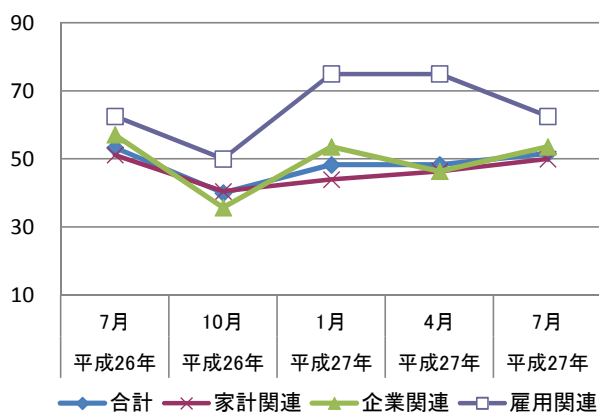
< 県南地区 >

① D I

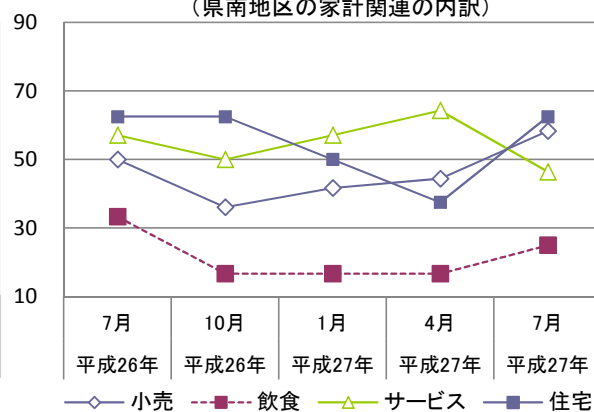
n = 30

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>53.3</b>	<b>40.0</b>	<b>48.3</b>	<b>48.3</b>	<b>51.7</b>	3.4
家計関連	51.2	40.5	44.0	46.4	50.0	3.6
小売	50.0	36.1	41.7	44.4	58.3	13.9
飲食	33.3	16.7	16.7	16.7	25.0	8.3
サービス	57.1	50.0	57.1	64.3	46.4	▲ 17.9
住宅	62.5	62.5	50.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	57.1	35.7	53.6	46.4	53.6	7.2
雇用関連	62.5	50.0	75.0	75.0	62.5	▲ 12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



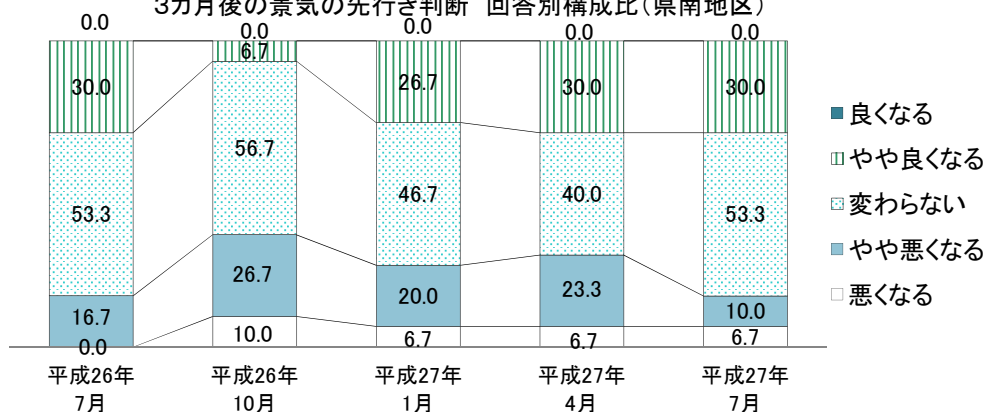
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	6.7	26.7	30.0	30.0	0.0
変わらない	53.3	56.7	46.7	40.0	53.3	13.3
やや悪くなる	16.7	26.7	20.0	23.3	10.0	▲ 13.3
悪くなる	0.0	10.0	6.7	6.7	6.7	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)

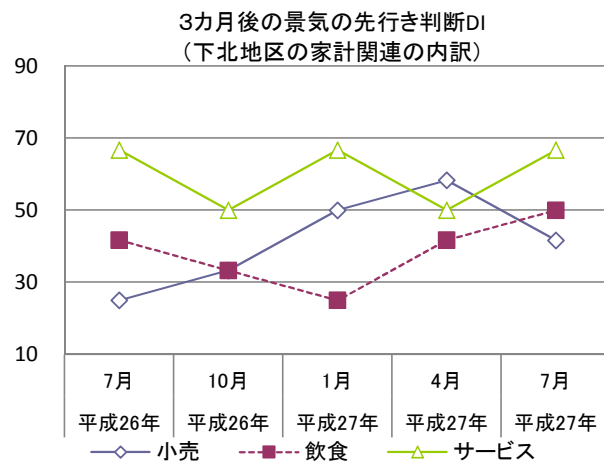
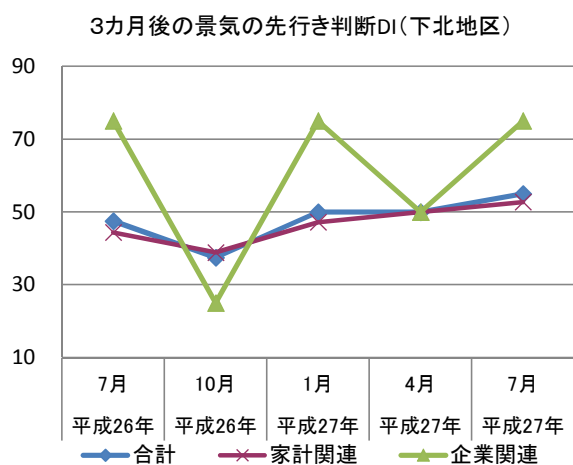


<下北地区> (参考)

①DI

n= 10

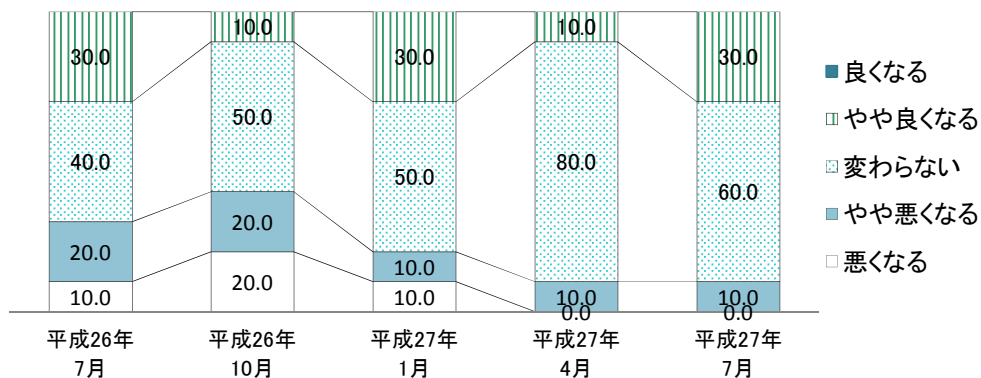
	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>47.5</b>	<b>37.5</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>55.0</b>	5.0
家計関連	44.4	38.9	47.2	50.0	52.8	2.8
小売	25.0	33.3	50.0	58.3	41.7	▲ 16.6
飲食	41.7	33.3	25.0	41.7	50.0	8.3
サービス	66.7	50.0	66.7	50.0	66.7	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	75.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	10.0	30.0	10.0	30.0	20.0
変わらない	40.0	50.0	50.0	80.0	60.0	▲ 20.0
やや悪くなる	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0
悪くなる	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	一般飲食店	お客様が来店されて通年に比べても人出も多い。
やや良くなっている	家計	東青	都市型ホテル	前年は消費税増税の影響が3ヵ月ほど続いたが、今年は宿泊予約等伸びが見られる。
			設計事務所	受注の差は多少ありますが、業界全体に仕事が回っているように見受けられます。
			住宅建設販売	住宅の注文が増加、春以降増えてきているため。
			卸売業	微増ではあるが、各カテゴリー（加工食品、飲料、ビール類）の売上が伸びている。
			スナック	5月連休後は静かで、真剣にどうしたらいいか考えました。6月10日過ぎから予約が入り、又予約なしでお客様が御来店になったり、景気がよくなってきたのかなと、久しぶりの安堵感です。
			スーパー	来店客数は前年より増えている。一部、プレミアム商品券の効果もある。
	津軽	旅行代理店	プレミアム商品券、地域での産業まつり等で活性化の傾向がみられる。	
		美容院	プレミアム商品券効果でしょうか。	
		住宅建設販売	5月頃から下請業者が技術者不足、人手不足を訴えている。	
		家電量販店	5月、6月と対前年売上比伸長している。	
		一般小売店	昨年は消費税アップ後すぐの3ヵ月間だったので比べようがないが、昨年よりはかなり良くなっている。	
		コンビニ	プレミアム商品券でかなり得をしたので、財布のヒモが緩んでいると思う。	
	県南	旅行代理店	ゼネコンはもとより、下請まで団体旅行を再開しはじめた。	
		住宅建設販売	問い合わせが増えてきた。	
		一般小売店	各地域で割増商品券が発売され、人気であったが、商品券の使用可能な店の多い地域は概ね良い話を聞いている。	
		コンビニ	震災以降下がりが続けた客数、売上。下げ止まった感じです。	
	下北	タクシー	売上が少し良くなっている。	
		スーパー	前年の増税での不振が1年経過して戻りつつある。	
	企業	東青	広告・デザイン	プレミアム商品券利用による消費活動の活性化。
		津軽	経営コンサルタント	雨が少なかったが、農作物の収穫も順調な様子で地物の作物が流通しており、スーパー、デパートの人出も多い。
県南		広告・デザイン	やや良くなっているという回答をしたが、今までと比べ多少広告費を考える企業が増えた様に思う。	



現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	企業	県南	経営コンサルタント	消費税増税の景気への悪影響も一段落ついて、消費が通常に戻った。企業の投資意欲が元に戻りつつある。
			飲料品製造	全体的に停滞している感はあるが、新商品や限定商品に対する反応が良くなっている。
		下北	食料品製造	昨年と比べてという低いレベルだが、いづらか商品の動きが良くなっている。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	各市町村で発行したプレミアム商品券が奏功して消費動向が活発化している。
		県南	新聞社求人広告	少しだが広告出稿が増えているため。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	客数、利益、変わらない。
			百貨店	節約志向が高い。
			美容院	客単価が上がらず、利用サイクルも長く感じます。
			商店街	物価は着実に上がっており、消費者心理は防衛につとめている。
			競輪場	売上平均が変わっていない。
			観光名所等	4～6月の入場者数は前年比108.6%とやや上向き、3ヵ月前とほぼ同じ状況で推移。
			家電量販店	増税の影響は一巡したものの、売上に変化が感じられない為。
			パチンコ	6月に入り、多少ではあるが集客が増えましたが、この先さらに増え続けとは思えません。
			タクシー	さまざまな業種の人が話してましたが売上は上がらないし、景気が悪いとの話を聞きます。
			ガソリンスタンド	建設業にしても小売業にしても爆発的に忙しいという声は聞かない。
		津軽	百貨店	この3ヵ月間売上はほぼ前年並み（4月は桜が早咲きで、売上が前倒しも以降変化なし）
			都市型ホテル	仕事の受注量に変化がないため。
			設計事務所	昨年より仕事量が多く、コンサルタントに設計依頼があります。
			乗用車販売	消費税増税から景気は上向いていない。
			商店街	プレミアム商品券の販売で6月末から良くなったが、その前は買い控えがあった。
			観光名所等	大型バスの大幅運賃の値上がりがあり、遠距離バスが減っている。同業施設は指定管理者であるので、今後いろいろ課題がでてくると思う。
			観光型ホテル・旅館	月毎の宿泊者数からの判断で、5・6月、2ヵ月間で30%以上売上減でしたが、7月は昨年並みにすいいています。安心できません。
ガソリンスタンド	売れない。人がいない（中心街に）。			

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	百貨店	消費税増税から一巡して身の回り品や雑貨、家庭用品などの一部で回復の動きがみられるものの衣料品（とりわけ婦人服、子供服）の動きが弱含みでトータルではあまり変化が感じられないため。
			美容院	売上や品物の購入する動きが重く、渋くなっている。新しい、情報があまり入ってこない。守りに入っている感覚です。
			設計事務所	官公庁の仕事量が増えている。
			乗用車販売	未だに買い控え傾向が続いている。
			観光型ホテル・旅館	今年に入ってから大きな変化はない。
			家電量販店	高額商品販売で単価は上がっているが台数減。客数伸びず。
			卸売業	財布のひもがかたい。
			一般飲食店	良いような気もする時もあるが、物価上昇に押され、利益UPにつながらない。
			衣料専門店	前年は、消費税増税で消費が落ち込みましたが、反動でプラスに転じましたが、節約志向は続いているようです。
			タクシー	3カ月前は期待感で考えていたが、メディアで騒ぐほどではない。財布のヒモは堅いし、中央からの出張の方々も少ないようだ。
			スーパー	売上が回復する傾向が無く、買上点数が少ない為。
			ガソリンスタンド	中央での景気波及効果が実感できず、個人消費の動向も大きな変化は感じられない為。
			下北	都市型ホテル
	一般小売店	特に変化を感じないです。（3カ月前と比べて）		
	一般飲食店	下り止めみたいなまま変動がないからです。		
	企業	東青	建設	当社は建設会社で低入札が多く、役所発注工事は減少している。民間工事は、ダンピングと思われる物件が多く会社の業績はいまいち。向上には程遠い。
			経営コンサルタント	景気動向の中心とみられる個人消費に力強さは見られず、横ばいの状況が続いている。春の賃上げは低い伸びに止まった。
		津軽	電気機械製造	今年は年初来ずっと好調な受注が続いているため。
			食料品製造	何も変わっていない。
			広告・デザイン	工事完了件数が増えておらず、又、工事単価も低いまま。
県南		電気機械製造	私共の仕事では中国やアジア景気減速で設備投資に関わる生産設備関係の仕事は減ってきているが、円安による製品製造の仕事は国内回帰が見られ、差引きで景気は維持されているように見える。	
		食料品製造	原材料調達コスト、為替の円安のマイナス及び燃油等動燃費の安定調達のプラス要因が続いているから。	

現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	企業	県南	紙・パルプ製造	周辺の交際範囲での会話等。	
	雇用	東青	人材派遣	売上、利益率の平均値は大きな変動のない時期であった。	
			新聞社求人広告	対前年割れが続いているが、今が底か。	
		津軽	人材派遣	消費税増税後1年以上経過したが、相変わらず購買力の低下が続いている。	
やや悪くなっている	家計	東青	衣料専門店	前回調査では「やや良くなっている」と回答している。連休あたりから急激に来店客数が減った。予定されている「プレミアム券」の影響でしょうか。よく分からない。6月後半から”プレミアム券”の効果で売上は回復しているが、落ち込み分はカバーできておらず。	
			レストラン	個人消費が少なく、月に1回のお客様が2カ月に1回という感じに。	
	津軽	一般飲食店	パチンコ	今年春が早くて真夏に近い暑さが続くことも多く、農作物にもう少し雨もほしいと言う声も聞かれます。これも売上にも響いているようにも思います。	
			スナック	消費増税が響いてきていると思います。	
	県南	下北	レストラン	増税により消費が伸び悩みしているかも。静か。	
			コンビニ	物の価格が上がって来ている。	
			ガソリンスタンド	買い物が細かく財布のヒモが堅い。	
	企業	県南	建設	原発や公共事業が少ないせい、土木・建築業があまり動いていないようで、我々も軽油の売上が悪い。	
	悪くなっている	家計	県南	レストラン	建設発注額がやや減少している感がある。
				パチンコ	外食や、飲み会をする人が減っている。
				物価の上昇等に賃金が追いつかず、皆、買い控え、節約しているように思われる。夏のセールが始まっているがお客様も少ない。	

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由	
良くなる	家計	東青	一般飲食店	自店の販売促進ももちろんしているし、ねぶたも含め行事もたくさんあり、人出も見込める。	
やや良くなる	家計	東青	住宅建設販売	次の消費増税までの間、駆け込み需要が増えるため。	
			都市型ホテル	食材が値上がりしているのが懸念材料ではあるが、プレミアム商品券の発売後売上も安定している。	
			設計事務所	新築、改修など工事のベストシーズンに増加する気配を感じます。	
			観光名所等	ねぶた祭り本番を8月に控え、観光客の入り込み増加が見込まれる。	
			スーパー	今後、気温の上昇で食料品の需要が増える。前年は冷夏であり、今年は反動があると思われる。	
			旅行代理店	9月の連休や秋にかけての宿泊等の依頼が多い。	
			レストラン	ねぶたをはじめ、いろいろな行事があるので期待したい。	
			卸売業	天候にも左右されるが、消費が上向き状況である。	
	津軽			家電量販店	プレミアム商品券の消費促進効果。
				旅行代理店	流通部門（金の流れ）が良くなるような傾向が見られる。
				タクシー	円安による物価の上昇があるが、弘前市のパワーアップ商品券の利用に期待したいと思います。
				一般飲食店	暑さも続くこのごろ、今、食品・食材の値上げの話もきかれます。でも、この先いろいろ催し物、イベントがありますので少しでも売上につながればと思います。
				一般小売店	プレミアム商品券の売れ行きや、6月26日以降のプレミアム商品券の使い方などをみると、やや良くなると思う。
				コンビニ	梅雨が長引かないので、農家が忙しいと言っている。人が動いている。
	県南			乗用車販売	新型車投入予定があるので販売台数が伸びる可能性有り。
				商店街	「プレミアム付はちのへ共通商品券」が発売されましたので、使用期限の11月末までは消費が増えるとおもわれる。
				住宅建設販売	消費税増税に向けて動きが出てくれば。
				一般小売店	割増商品券そのものではなく刺激を受けた富裕層が消費に動く事を期待している。
コンビニ				当店舗の近くで大きな設備投資があるらしい。	
旅行代理店				中長期的な見通しが立ったので、各企業が旅行してきている気がする。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや良くなる	家計	下北	タクシー	観光客に期待しています。	
			ガソリンスタンド	お祭り、お盆の帰省で多少なりとも良くなるのではないかと。期待も込めて。	
	企業	津軽	経営コンサルタント	プレミアム商品券の影響で購買力が上がっていくのではないかと。ふるさと旅行券を使った帰省客、観光客にも期待したい。	
			食料品製造	プレミアム商品券の期日もあるので、多少動く事に期待して。	
		県南	飲料品製造	地域活性化対策もあるが、時期的に祭りの盛り上がりなど期待でき、また、地元人が集まるイベントなどもきっかけになるのではなかろうか。	
			食料品製造	マイナス・プラス要因はこの先も大きく変わらないが、食品製造に欠かせない国内資源に青森県は今後3カ月にわたり恵まれているから。	
		下北	食料品製造	各地でプレミアム商品券の使用が活発になると思われる。	
	雇用	東青	新聞社求人広告	希望的観測。プレミアム商品券の使用で消費が上向くことを期待する。	
		津軽	新聞社求人広告	プレミアム商品券の影響が一時的にせよ、ガソリンの値段が140円を切って、夏や秋のマイカーでの行楽なども期待できそう。弘前城天守曳屋も話題になっている。	
			人材派遣	6月にプレミアム商品券が発売されたが、購入者は数ヶ月の期限付きで買い物をするので、景気は一時的によくなると思う。	
変わらない	家計	東青	競輪場	固定客が多い為。	
			スナック	全く見当が付きませんが、自分なりに営業して期待したいです。だけど、閉店が多く寂しい限りです。夜の本町は閑古鳥です。	
			ガソリンスタンド	青森県の人口減少はすべての業者で需要を衰退させると思う。	
			家電量販店	これと言った材料もなく、景気動向に停滞感を感じる為。	
			美容院	まだまだ必要最低限の利用が続き、付加価値に対しても消極的になっているようです。	
			商店街	好転する要因が見あたらない。	
			タクシー	いろいろな仕事の人々が話してましたが、ガソリン（燃料）も上がっているので、車も少ないし、街に人が歩いていないとの事ですので、今後も変わらないと思います。	
			津軽	乗用車販売	今後も景気上昇の気配は感じられない。
				設計事務所	来年度の仕事も予定に詰まっている状態なので不変だと感じています。
				住宅建設販売	同業者は比較的順調に仕事を受注しており、現状のまま、やや忙しさが続くと思う。
	商店街	プレミアム商品券で消費は動くが、根本的に良い材料がない。			
	衣料専門店	景気が良くなる要素がないように思う。			
			百貨店	食品は安定した売上を確保するも、衣料品が苦戦傾向あり。クリアランス期に入るも特段伸ばす見込みがない。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	観光名所等	お天気による。
		県南	美容院	7月からの物価の値上がりや政治の足踏み状態から生活環境の変化は期待できなさそう。プレミアム商品券も一過性で終わると思う。お釣りが出ないので現金と併用しなければならないので不便。
			家電量販店	伸びる商品が少ない。
			衣料専門店	あまり良くなり変わらないということですが。ポイント2倍デーや感謝デー5% off のような得点がある時は、何とか足を運んでいただけますがそれ以外の日は、毎日厳しい状況です。
			設計事務所	民間の仕事量しだいだと思う。
			卸売業	収入が増えないかぎり、現状維持だと思う。
			百貨店	プレミアム付商品券の発行で消費回復が期待されるものの、クリアランスやボーナス商戦の動きをみると、依然、節約志向や不要不急の消費には慎重となっていると思われる。
			観光型ホテル・旅館	外国人客数の増加、株価の安定要因から大きな変化はないと見ている。
			一般飲食店	要因としては、天候不順、政治に対する不安等諸々が物価安定をさまたげ、円安、物価高、利益ダウン景気は多少良さそうだが、変わらないのでは。
			ガソリンスタンド	各地域において、プレミアム商品券の販売を行うなどの政策はあるものの効果は限定的で、個人消費の回復は難しいと思われる。
	タクシー	知らないうちに廻りが値上げになって、実質、自分で使えるのは大分少なくなっている。自分を守るだけでやっとのようだ。		
	下北	都市型ホテル	今夏はこのまま推移しそう。	
		レストラン	品物（食材）が上がっているのではなんとも言えないが良くはならないと思う。	
		一般飲食店	7月の末にうなぎの日があるので、あと変わらないと思います。	
		スーパー	地方には依然と景気の回復が遅いよう。売上から推移すると。	
		一般小売店	今より良くなる要因なし、悪くなる要因もなしかと思います。	
	企業	東青	経営コンサルタント	食品の一部に値上げの動きがあり、物価の上昇圧力は強い。これに対し、賃金の上昇は弱いので個人消費はよくて横ばいの状況がしばらく続くと見られる。
			建設	当社は建設会社で低入札が多く、役所発注工事は減少している。民間工事は、ダンピングと思われる物件が多く会社の業績はいまいち。向上には程遠い。
		津軽	広告・デザイン	見積り依頼件数及び工事見込み件数が増えていない。
			県南	広告・デザイン
経営コンサルタント		更に良くなるのは、もっと時間が（6カ月以上）かかりそう。		
雇用	県南	新聞社求人広告	これといった材料がないため、変化がないのでは。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	衣料専門店	消費税の影響も薄れ、プレミアム券でのフィーバーもあり天候も申し分ない。悪い材料は無いように思うが。民間の実質賃金アップがないと継続的な消費増に結びつかないのでしょうか。
			観光型ホテル・旅館	来年3月の北海道新幹線開業に向け、”買い控え”がおきると予想。
		津軽	スナック	毎年お祭りが始まるとますます静かになるので。
			パチンコ	消費増税が響いてきていると思います。
			ガソリンスタンド	今年は公共事業が少ないとか言ってました。（土木、建築関連の経営者より）
		県南	スーパー	中国株価問題や、食料品の値上げで、各家庭はさらにシビアになると予想します。
			スナック	年末からずっと人の流れが少ない。より静か。
		下北	コンビニ	消費税、物価の値上がり、賃金の据え置き又は下がっている。
		企業	東青	広告・デザイン
	食料品製造			夏場に向けて水産は大変厳しくなる。暑さから面倒な調理は煙たがられ、生ゴミが出る事も嫌い、ますます簡単なものが食卓にあがると思います。
	津軽		電気機械製造	客先からの情報で、夏以降携帯電話用の部品の受注が下がるため。
			飲料品製造	取引先から良くなっている話は聞かない。
	県南		電気機械製造	「ギリシャ問題や中国の景気減速の影響は徐々に現れるだろう」というのがお客様や取引先からの情報です。
雇用	東青		人材派遣	人件費が上昇しているが、価格等に転嫁できていない中小が多いと感じる。以前からこの傾向はあったが今後しばらくはこの傾向が続く。また強まると思われる。
悪くなる	家計	津軽	スナック	4月からの物価の値上げも影響してくると思う。
			県南	レストラン
		パチンコ		政治不信、消費税増税を前にますます財布の紐が堅くなると思う。
		レストラン		消費税の引き上げが、じわじわと仕入れや生活に影響してきている為。

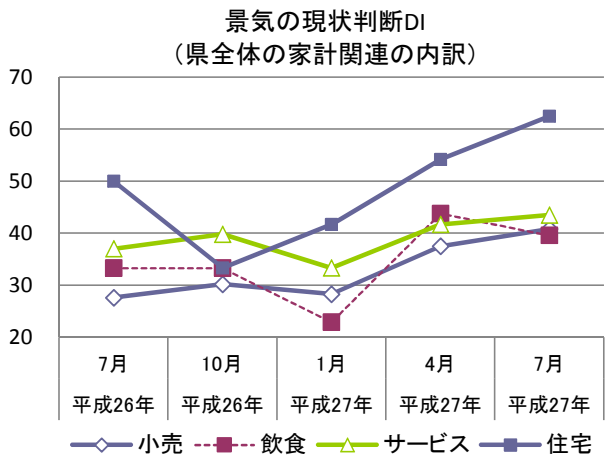
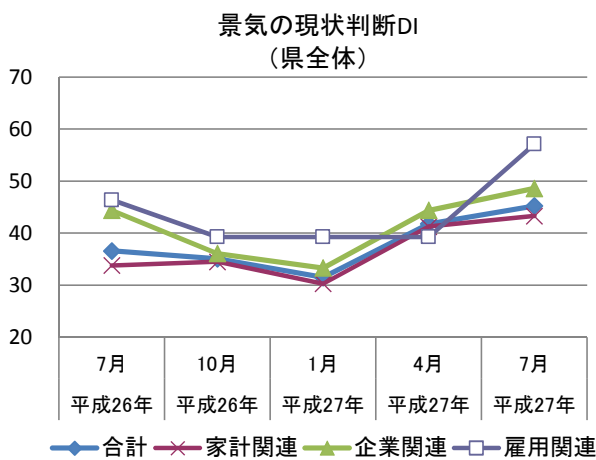
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ①DI

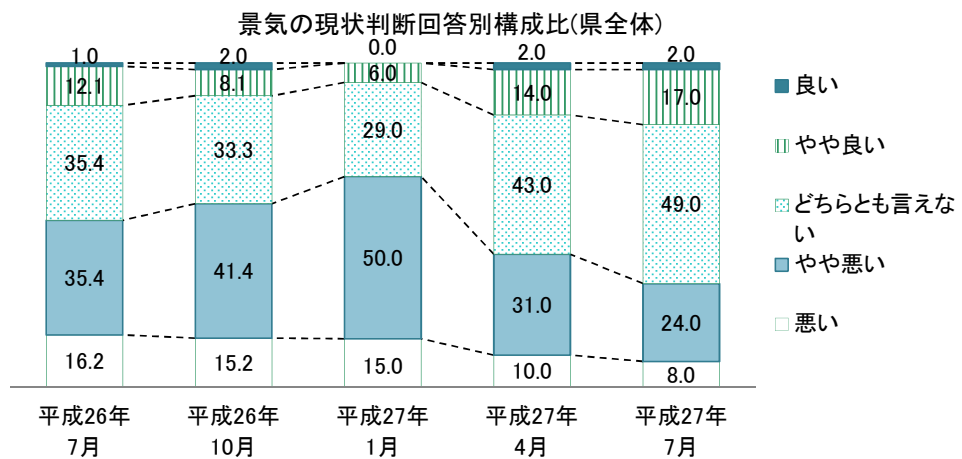
n = 100

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>36.6</b>	<b>35.1</b>	<b>31.5</b>	<b>41.8</b>	<b>45.3</b>	3.5
家計関連	33.8	34.5	30.3	41.3	43.3	2.0
小売	27.6	30.2	28.3	37.5	40.8	3.3
飲食	33.3	33.3	22.9	43.8	39.6	▲ 4.2
サービス	37.0	39.8	33.3	41.7	43.5	1.8
住宅	50.0	33.3	41.7	54.2	62.5	8.3
企業関連	44.4	36.1	33.3	44.4	48.6	4.2
雇用関連	46.4	39.3	39.3	39.3	57.1	17.8



#### ②回答別構成比 (%)

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
良い	1.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0
やや良い	12.1	8.1	6.0	14.0	17.0	3.0
どちらとも言えない	35.4	33.3	29.0	43.0	49.0	6.0
やや悪い	35.4	41.4	50.0	31.0	24.0	▲ 7.0
悪い	16.2	15.2	15.0	10.0	8.0	▲ 2.0

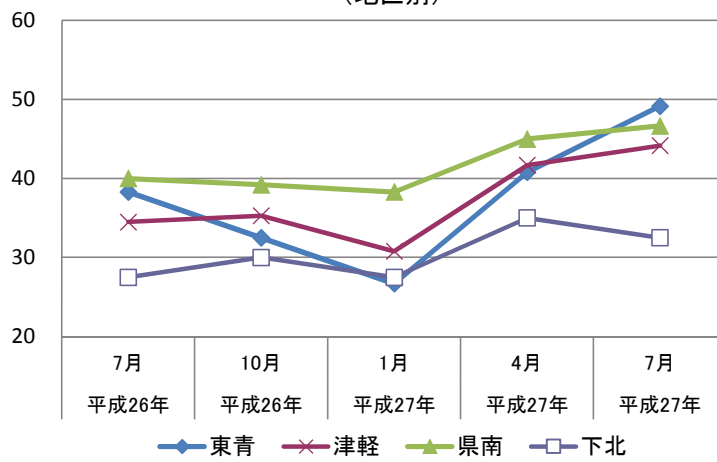




③地区別DI

	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	平成27年 4月	平成27年 7月	前期調査 との差
合 計	36.6	35.1	31.5	41.8	45.3	3.5
東青	38.3	32.5	26.7	40.8	49.2	8.4
津軽	34.5	35.3	30.8	41.7	44.2	2.5
県南	40.0	39.2	38.3	45.0	46.7	1.7
下北	27.5	30.0	27.5	35.0	32.5	▲ 2.5

景気の現状判断DI  
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	プレミアム券を取り上げないといけないと思います。高付加価値券は販売日から5日で完売と盛況でした。たんす貯金を引き出し、使用期間限定の地域流通券に替えたという点で経済効果は期待できます。後は如何に購買意欲を掻き立てるかでしょうか。景気観測の指数で昨年対比等比べることをやめるとどうなるのでしょうか。今が幸せか、幸せでないか。どこかの国の様になるのでしょうか。
		一般小売店	プレミアム商品券を使う方が多く、この分で売上が少し上がったが、期間が過ぎたら、又、落ち込みそうな気がする。
		一般飲食店	原材料費が上がっているの、原価をよく考えていかないと税金がたいへんだ。人を来させるのに安くしなければならぬし、やることたくさんです。
		レストラン	春から夏、秋にかけて観光客が年々多くなってきたように感じます。
		タクシー	自分の仕事関係の事ですが、青森でコンサートやライブを行ってもチケットが思うように売れないので、青森では今後ライブを行えないとイベント関係者が話していました。
		美容院	商店街そのものが閑散としている様子是否めません。
		住宅建設販売	建築資材の値上がりがラッシュ。
	津軽	コンビニ	プレミアム商品券がきっかけで外に出る回数が上がったと言っている人が多くなりました。
		百貨店	弘前市プレミアム商品券が6月26日発売および即日完売。この商品券による買上げ状況が現在不確定であり、また今後期待したい。
		一般小売店	4月の下旬からハローワークに社員募集をしたが、6月末まで一人も応募者がいなかった。人手不足で困っているが、そんなに景気がよくなっているのかと思う。
		一般飲食店	天候にも左右されてる今日この頃です。これから台風の季節に大きい災害がないようにと思います。
		スナック	3か月ごとに景気の変化は、あまり動かないと思います。
		観光型ホテル・旅館	今の青森県の観光業の景気は北陸方面への観光客が増大している結果でもあると思います。秋口から北陸熱も多少落ち着いて、県内にもお客様が見込めるのでは。
		観光名所等	種々、原料等値上がりが目立つ（商品について）、原発事故の後遺症。
県南	旅行代理店	プレミアム商品券の効果がどの程度なのか注視している。	
	美容院	各自治体でプレミアム商品券を発行・発売していることと思えます。買えた方と買えない方が出るのはいかがなものかと。皆に行き渡る様に販売する方が、両者気持ちが良いと考えます。	
	ガソリンスタンド	ばらまき政策のプレミアム商品券への販売の仕方への不満が聞こえます。並んで買うより、毎戸に平均的な販売方法があったのでは。	
	コンビニ	最大手コンビニチェーンの出店で飽和状態に拍車が掛かり、継続できなくなる店も多数出て来るのでしょうか。	
	百貨店	最大手コンビニチェーンのオープンがコンビニ業界だけでなく、近隣のスーパーマーケットや大型店食料品売場へどのような影響を及ぼしていくか、注視していきたい。	
	乗用車販売	プレミアム商品券の人气が高かったの、それが消費に回ると相乗効果で景気上向きを期待。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	衣料専門店	プレミアム商品券が発売されもっと売上が伸びることを期待していましたが、私共の担当ブランドには、商品券での買い物はまだ2人しかいらっしゃいません。洋服では使わないのでしょうか。あとでゆっくり使おうとしているのか、もう少し伸びを期待してました。
		一般小売店	9月に八戸市では、日本青年会議所の全国大会が開催される。今後50～100年は無いと考えられる事だけに何か良いきっかけとなる事を願っている。
		商店街	7月17日から開催の八戸七夕まつり、25日の南郷サマージャズ、31日からの八戸三社大祭など、夏のイベントによる集客が見込まれるので、消費が更に拡大すると思われる。
		卸売業	八戸では、他県からの進出企業により安値販売の激戦区となっており、消費者はいかに安い商品を手に入れるか苦労している様子がうかがえる。
		一般飲食店	プレミアム商品券発行で浮かれているようだが、景気の底上げになるかどうか様子見。
		スナック	4月からの物価の値上げも影響してくると思う。
		タクシー	今月、また値上げラッシュ、何ヶ月もしないうちの値上げに、皆さんは腹の中は沸々としていつ爆発してもおかしくない様子である。
		美容院	新聞を読んでいても、生活にかかわる施策に優先順位をつけて重点的にしないと何もかもみんな混同してしまっている。(政治力不足)
		パチンコ	先日東京に行った時実感させられた好景気大都会と地方の格差。地方に浸透してくるのはいつのことでしょうか。
	下北	コンビニ	むつ市への企業誘致、大学誘致、国立の老人ホーム等があればいいと思う。
スーパー		以前よりは「少しよいもの」「おいしいもの」が売れるようになり「無駄買い」はかなり減っている。	
一般飲食店		これからの地球全体が何か恐ろしい思いです。私みたいな年寄りはいませんが、これからの若い人たちがとても心配です。	
企業	東青	建設	所得がそのわりには上がらない中で、ここにきて物価が上がりはじめた。株価が上がってはいるが私達には関係ないと感じる。
		津軽	食料品製造
	津軽	電気機械製造	スマートホンに係る仕事をしている会社は、大手米国企業に関する仕事をとれたかどうかで明暗がはっきり分かれているように思います。
	津軽	建設	今年度も4カ月目に入りました。ようやく動き出した感じです。実際、内容がもう少し良ければ、と思っています。新国立競技場のように予算があればいいと思います。でも無駄は良くない。
	津軽	経営コンサルタント	プレミアム商品券を買い求める人の行列はすごかった。
	津軽	広告・デザイン	選挙の時には地方の隅々まで景気回復を実感させると言いながら、経済の話はそっちのけにして毎日安保法案の事ばかり。国民の大多数は何を進めてほしくて多数の票を投じ願ったのかわかっていないのか政府の方々。
	県南	飲料品製造	中央に向けての売り込みを進めているが、やはり、地域との格差を明確に感じる。
電気機械製造		南部ではいくつもの工場が撤退している。誘致で来て20～30年操業して、従業員を放出して去っていく企業たち。アジア諸国や欧米のように、進出したら簡単には閉鎖できない政策をとれないものか。一方、規模は小さくとも地元で長年頑張る企業を支援できないものか。	
建設		工事量の減少による為か、資材販売会社の値引きが目立ってきた。	

分野	地区	業種	自由意見
企業	県南	経営コンサルタント	クライアントの中にはかつてない程、利益が計上される企業もチラホラでてきた。ひところの全滅状態でないので今後に期待がもてる。
		広告・デザイン	震災から比べれば通常に戻りつつあるが、その当時の負の損失や負債をカバーできるまでに至っていない。
雇用	東青	人材派遣	雇用関連法の改正・施行で、会社によってではあるが、社員の雇用形態の変更を考えている企業が複数出てきた。